

レビューシート（令和４年度レビュー対象事業：フォローアップ型）

様式 3

レビュー項目 (事業名)	ひょうご安心・推奨ブランドの認証手続きの負担軽減 (ひょうご食品認証事業)				部(局)	農林水産部				
					所管課	流通戦略課				
					担当班	ブランド戦略班				
					連絡先	078-362-3486				
開始年度	平成16年度	終了年度	—	関連計画等	・第5次兵庫県環境基本計画 ・ひょうご農林水産ビジョン2030					
事業区分	☐ 国補助事業 ☐ 県単独事業									
実施方法	☒ 直執行 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ その他()				実施主体等	県				
事業目的	BSEの国内初確認(H13.9)、牛肉産地偽装事件(H14.1)や鳥インフルエンザ発生(H16.2)等を背景に、食品に対する不安感・不信感が高まり、県産食品が持つ本来のおいしさ等が十分に評価されにくい状況の中、安全・安心で個性・特長のある県産食品に対する県民の愛着を喚起するため、ひょうご食品認証制度を創設									
事業概要	(1) 兵庫県認証食品の認証 基準を満たす農畜水産物・加工食品の認証(ひょうご安心ブランド・ひょうご推奨ブランド)(年3回) (2) モニタリング検査 兵庫県認証食品の出荷・小売段階での残留農薬検査等のモニタリング検査の実施(新規・更新時) (3) 有識者会議の開催 認証のための専門的・技術的審査〔年3回×4部門(農・畜・水産・加工)〕、認証基準の検討等									
業務フロー	<ひょうご食品認証制度> ① 申請(農林水産物・加工食品生産者) → ② 審査(有識者会議) → ③ 認定〔認証期間5年間〕 + ④ モニタリング検査(新規・更新時に実施)									
R4レビュー時の 外部委員会意見	・業務負担を軽減するには、業務プロセスを可視化し、整理することで圧縮できるので、業務の工数を減らすことを指標の一つにしても良い。 ・業務プロセスを、公務員しかできない仕事とそれ以外の仕事に分け、後者は外部委託やRPA等を活用すれば省力化が可能である。 ・本事業の認証期間の延長や、様式の簡素化等はまず着手すべき。 ・認証数が多いことで、ブランド価値がないのではないかと。認証マークがあると高くても買うという状況が構築できていないと考えられるので、ブランド価値を上げる必要がある。 ・推奨ブランドと安心ブランドの違いなど、県民の多くは2つの区別がついていない可能性が高いと考えられるため、より認知してもらえるよう更なる努力が必要である。									
改善結果 (改善状況 取組過程)	・認証事務負担軽減に向けた制度の改善 (1) 認証期間の延長〔3年→5年〕 (2) 様式の簡素化(重複箇所の削除、記載方法の簡素化)・業務の省力化(認証書への押印廃止等) ・モニタリング検査手続の簡素化(推奨ブランド更新時の確認方法変更〔検査→書面〕) ・西日本最大級の展示商談会に出展し、兵庫県認証食品をPR。また、民間企業と連携したキャンペーン等の取組を拡大し、兵庫県認証食品の認知度向上を図っている。									
事業に要するコスト	区 分		4年度決算額		5年度決算額		6年度当初予算額		7年度当初予算額	
	事業費①		6,621 千円		6,727 千円		5,645 千円		4,795 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		委託料	1,897 千円		994 千円		2,452 千円		1,827 千円	
		補助金・交付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		その他	4,724 千円		5,733 千円		3,193 千円		2,968 千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(特定)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(6,621千円)		(6,727千円)		(5,645千円)		(4,795千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		7,222 千円		6,621 千円		5,645 千円		4,795 千円	
	執行率((①/②)×100)		91.7%		101.6%		100.0%		100.0%	
	人件費③(a+b+c)		従事人員	0.9人	従事人員	0.9人	従事人員	0.9人	従事人員	0.9人
			7,431 千円		7,425 千円		7,848 千円		8,097 千円	
	職員給与費 a	6,422 千円		6,440 千円		6,839 千円		7,113 千円		
	賞与引当金繰入額 b	525 千円		535 千円		525 千円		535 千円		
	退職手当引当金繰入額 c	484 千円		450 千円		484 千円		450 千円		
総コスト(①+③)		14,052 千円		14,152 千円		13,493 千円		12,892 千円		

レビューシート（令和４年度レビュー対象事業：フォローアップ型）

様式３

	指標名	区 分	４年度 実績	５年度 実績	６年度 見込	７年度 目標	最終目標 【年度】
評価 指標	成果指標(アウトカム指標①)	目 標	42%	43%	44%	45%	45.0%
	兵庫県認証食品流通割合(%) (生鮮農畜産物) 〔第5次兵庫県環境基本計画〕	実 績 (見 込)	39.4%	37.8%	36.1%	45.0%	【R7年度】
		(単位当たりコスト)	(35,666 千円)	(37,439 千円)	(37,377 千円)	(28,650 千円)	
		達 成 率 (見 込)	93.8%	87.9%	(82.0%)	(100.0%)	
	活動指標(アウトプット指標①)	目 標	2,240	2,260	2,280	2,300	2,400
	兵庫県認証食品数(品目) 〔ひょうご農林水産ビジョン2030〕	実 績 (見 込)	2,347	2,354	(2,324)	(2,300)	【R12年度】
		(単位当たりコスト)	(6 千円)	(6 千円)	(6 千円)	(6 千円)	
		達 成 率 (見 込)	104.8%	104.2%	(101.9%)	(100.0%)	
標	終期設定	有 () 無 ()					
	改善基準						
自己 評価	評価の視点		評価		目標に対する達成状況(総合的評価)		
	○有効性(評価指標に対する実績) ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など		・兵庫県認証食品数は目標達成 ・兵庫県認証食品流通割合は高齢化による生産規模縮小等により減少傾向だが、概ね目標達成 ・県民の認証食品認知度は向上 〔県民モニターアンケート(認証食品認知度)〕 H28:41.5% → R3:50.3%[+8.8%]		A : 満足のいく実施状況	事務改善の取組により効率性が向上しており、かつ、アウトプット指標の目標を達成していることから、取組を継続する	
	○効率性(最小のコストで最大の効果) ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか など		・事務改善の取組により、申請者の手間や審査事務の負担は軽減				
	課題・今後の方向性 ☒ 改善 ☐ 他事業と統合 ☐ その他 説明 [今後も継続して、生産者・行政双方の事務負担軽減や効率的な執行のための見直しを実施]						
外部 委員 会 意見	○委員会の意見を踏まえ、認証期間の延長(3年→5年)や様式の簡素化、モニタリング検査の書面化など、事務負担軽減に向けた具体的な改善が実施されており、業務効率化の成果が確認できる点は高く評価できる。 ○また、展示商談会への出展や民間企業との連携キャンペーンなど、認知度向上に向けた広報活動も積極的に展開されており、今後も継続的な取組により、認証食品の更なる認知拡大が期待される。 ○一方で、認証数の増加に伴う事務量の増大や、安心ブランドと推奨ブランドの違いに対する県民理解の不足など、制度の本質的価値を高めるための課題も残されている。 ○今後は、認証制度のブランド力強化に向けた戦略的な広報や、業務プロセスのさらなる見直し(RPA等の活用含む)を通じて、制度の持続可能性と信頼性の向上を図りたい。						